

# 第3次中期経営計画

## グローバル140

Speciality Chemical Partner



2013年3月21日

荒川化学工業株式会社



# もくじ

## 1. 経営方針

- 1-1. 経営理念とビジョン
- 1-2. 「つなぐを化学する」とは
- 1-3. 「つなぐを化学する  
SPECIALITY CHEMICAL PARTERJ」

## 2. 第2次中期5カ年経営計画の振り返り

- 2-1. 第2次中計の基本方針（2008～2012年度）
- 2-2. 業績目標達成状況（連結）
- 2-3. 事業分野別売上高（連結）
- 2-4. 要因分析
- 2-5. 第2次中計の成果と次期中計への課題

## 3. 第3次中期経営計画の概要（2013～2015年度）

- 3-1. 位置づけとキャッチフレーズ
- 3-2. 基本方針
  - 1) グローバル化の加速
  - 2) 日本事業の再構築
  - 3) グローバルガバナンス体制の強化
  - 4) 事業開発の促進

- 3-3. 業績目標（連結）
- 3-4. セグメント利益（連結）
- 3-5. セグメント別事業戦略
  - 製紙薬品事業
  - 化成品事業
  - 電子材料事業
- 3-6. 投資額、減価償却費および研究開発費
- 3-7. インセンティブ制度の導入

## 4. まとめ

# 1.経営方針

## 1-1.経営理念とビジョン

### 経営理念

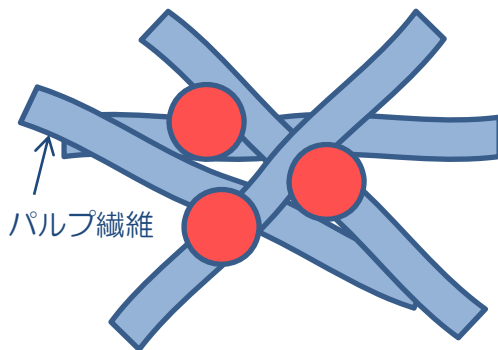
**個性を伸ばし 技術とサービスで  
みんなの夢を実現する**

### ビジョン

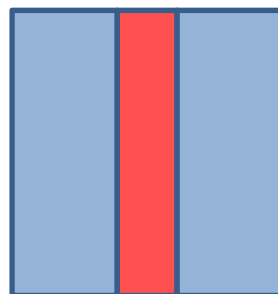
**つなぐを化学する  
SPECIALITY CHEMICAL PARTNER**

# 荒川化学の事業領域（得意分野）

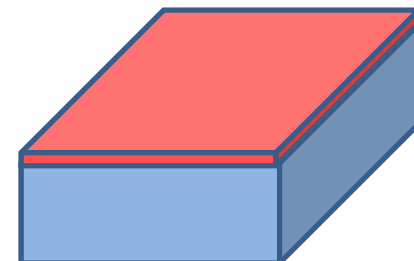
● … 材料 ● … 荒川化学の製品



紙



粘着・接着剤



インキ/塗料/コーティング 剤

「つなぐ」技術

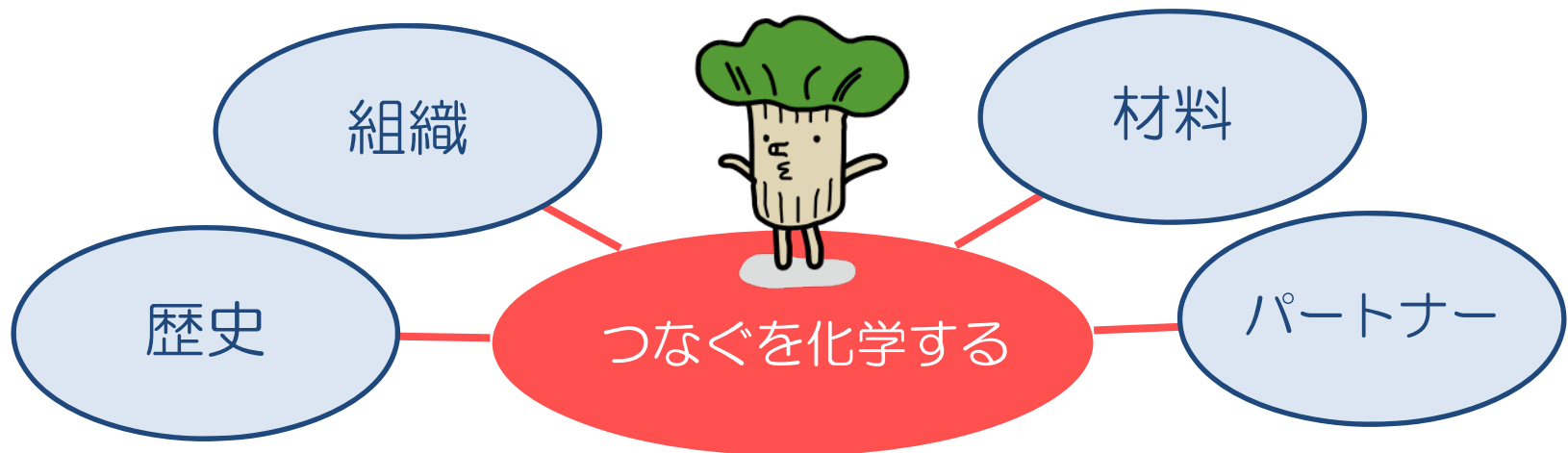
荒川化学の製品が材料に働きかけ、機能を付与する



「つなぐを化学する」

## 「つなぐを化学する」

- 荒川化学の「つなぐ技術」が材料に新たな機能を与える。
- 顧客のニーズに合った製品で、特別なパートナーとなることを目指す。
- 横断的な組織体制（横串機能の強化）により、事業開発を促進する。
- 130余年培った技術を活かし、新用途、新分野を切り拓く。



## 2.第2次中期5ヵ年経営計画の振り返り

### 2-1.第2次中計の基本方針（2008～2012年度）

第1次中計で築いた基盤をより強固なものとするとともに、  
企業価値の向上を実現する、躍動する企業集団へ

#### 1) 基盤事業のさらなる拡大

徹底した低コスト体質への変革、事業の集中・拡大や縮小・撤退の選択

#### 2) 伸長事業の拡大

高付加価値分野の用途開発、高収益性を確保しながら量的拡大へ

#### 3) 新規事業・新技術の創生

基盤・伸長各事業の拡大に必要な技術の開発、不足技術の確保

#### 4) 経営・事業基盤の整備と強化

事業組織のさらなる強化と経営資源の最適配分、グループ最適の経営へ

## 2-2.業績目標達成状況（連結）

(単位：百万円)	2007年度	2010年度	2012年度 (予想)	5カ年 伸率%	2012年度 (目標)
売上高	66,171	66,454	70,500	+6.5	85,000
営業利益	3,031	2,777	2,100	△30.7	5,200
経常利益	3,222	2,976	2,100	△34.8	5,500
当期純利益	1,775	1,619	950	△46.5	3,300
ROE	5.0%	4.5%	2.5%		≥7%
EBITDA	5,123	5,187	5,341	+4.3	9,600

## 2-3.事業分野別売上高（連結）

（単位：百万円）	2007年度	2010年度	2012年度 （予想）	5カ年 伸率%	2012年度 （目標）
製紙薬品事業	22,481	17,974	18,200	△19.0	26,600
化成品事業	31,028	33,914	37,400	+20.5	36,600
基盤事業計	53,509	51,889	55,600	+3.9	63,200
基盤事業比率	80.9%	78.1%	78.9%		74.4%
光電子材料事業	8,585	9,803	10,100	+17.6	12,700
機能材料事業	3,777	4,481	4,500	+19.1	8,900
伸長事業計	12,362	14,284	14,600	+18.1	21,600
伸長事業比率	18.7%	21.5%	20.7%		25.4%
その他事業	299	280	300	+0.3	200
合計	66,171	66,454	70,500	+6.5	85,000





### 外部環境の変化

- 電子材料分野におけるマーケット構造の激変
- 日本市場のシュリンク、ユーザーの海外移転
- 海外ローカルメーカーとの競争激化



- 需要構造の変化への対応
- 現地ニーズに対応した製品投入
- 販売ネットワーク構築



# 遅れ

## 成果① グローバル展開のための土台固め

- ・グローバル人材の育成・確保  
(外国籍キャリア社員増加、海外研修制度導入)
- ・現地ニーズに対応した商品の開発
- ・中国生産拠点の統合、販社の設立

課題

人、モノ、体制のグローバル化の加速

## 成果② 拡大分野に大型設備投資を実施

- ・光硬化型樹脂、コンポセラン製造設備（大阪工場）の新設
- ・超淡色ロジン製造設備（小名浜工場）の新設
- ・欧州での水素化石油樹脂生産拠点の買収

課題

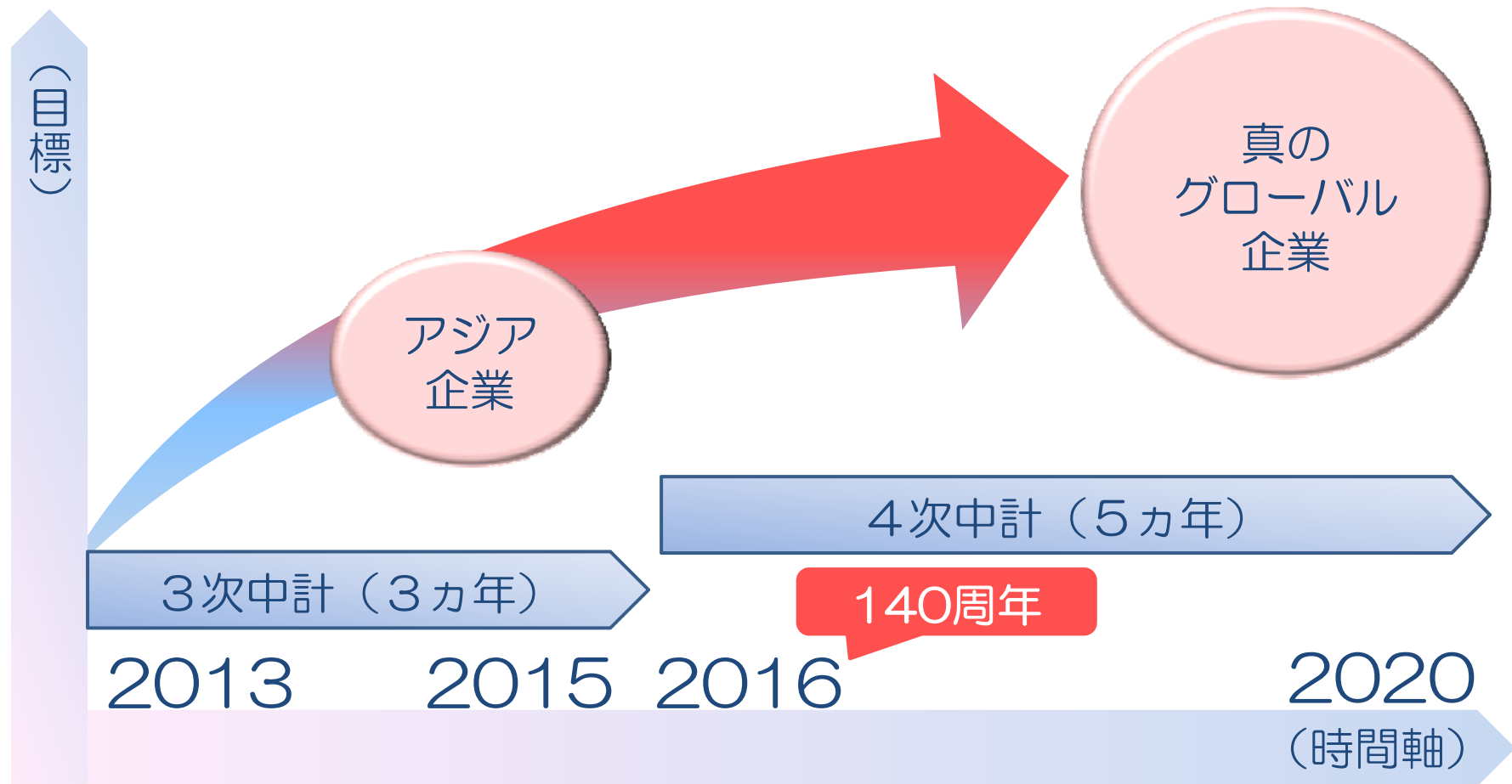
投資の成果の最大化

# 3.第3次中期経営計画の概要 (2013~2015年度)

## 3-1.位置づけとキャッチフレーズ

**グローバル140**

140周年に向けてグループ経営理念を共有した社員が躍動するアジア企業へ



※グローバルは、日本を含めた 世界全体のこと

### グローバルに通用する経営基盤を構築する ～化学はグローバル市場では成長産業である～

#### 1) グローバル化の加速

海外売上高280億円、海外売上高比率35%を目指して、アジアを中心とした拠点戦略を一層展開させるとともに、グローバルブランドを育成する。

#### 2) 日本事業の再構築

グローバル市場の中での日本事業の位置付けを再認識し、収益を確保できる体制を構築する。

#### 3) グローバルガバナンス体制の強化

グローバルで信用される企業となるため、グループガバナンス体制を強化するとともに、スピード感を持って実行できる体制を構築する。

#### 4) 事業開発の促進

「つなぐを化学する」をキーワードに全社横断の事業企画活動を強化する。

# 1) グローバル化の加速

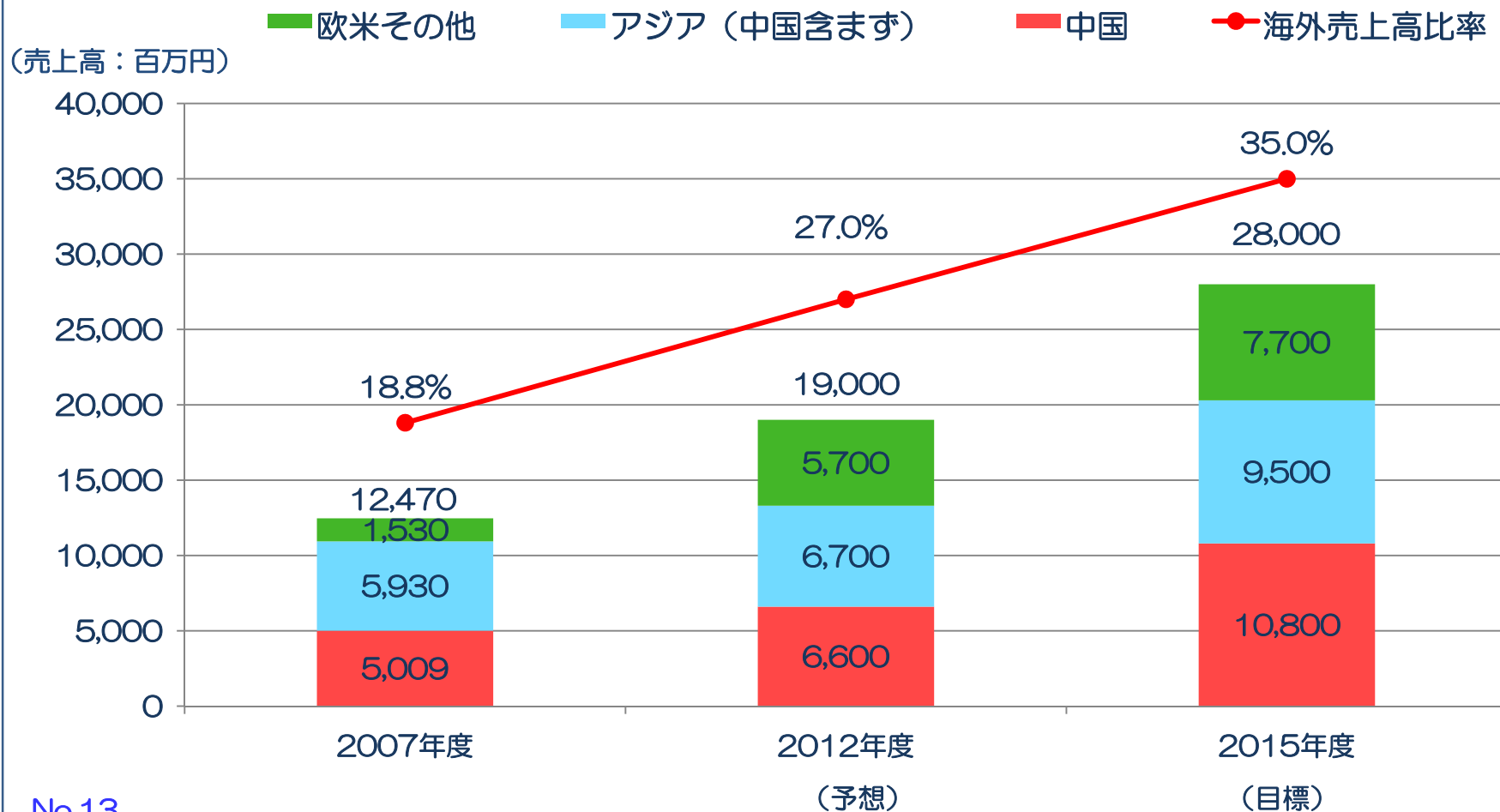
各事業のアジアを中心とした展開加速

● 製造拠点  
▲ 販売拠点



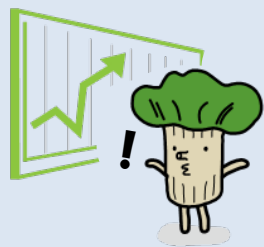
# 1) グローバル化の加速

海外売上高280億円、海外売上高比率35%を目指す



グローバル市場の中での日本事業の位置付けを再認識し、  
収益を確保できる体制を構築する

採算悪化事業の  
再構築



生産拠点の  
統廃合



日本事業の再構築

高付加価値商品の拡販



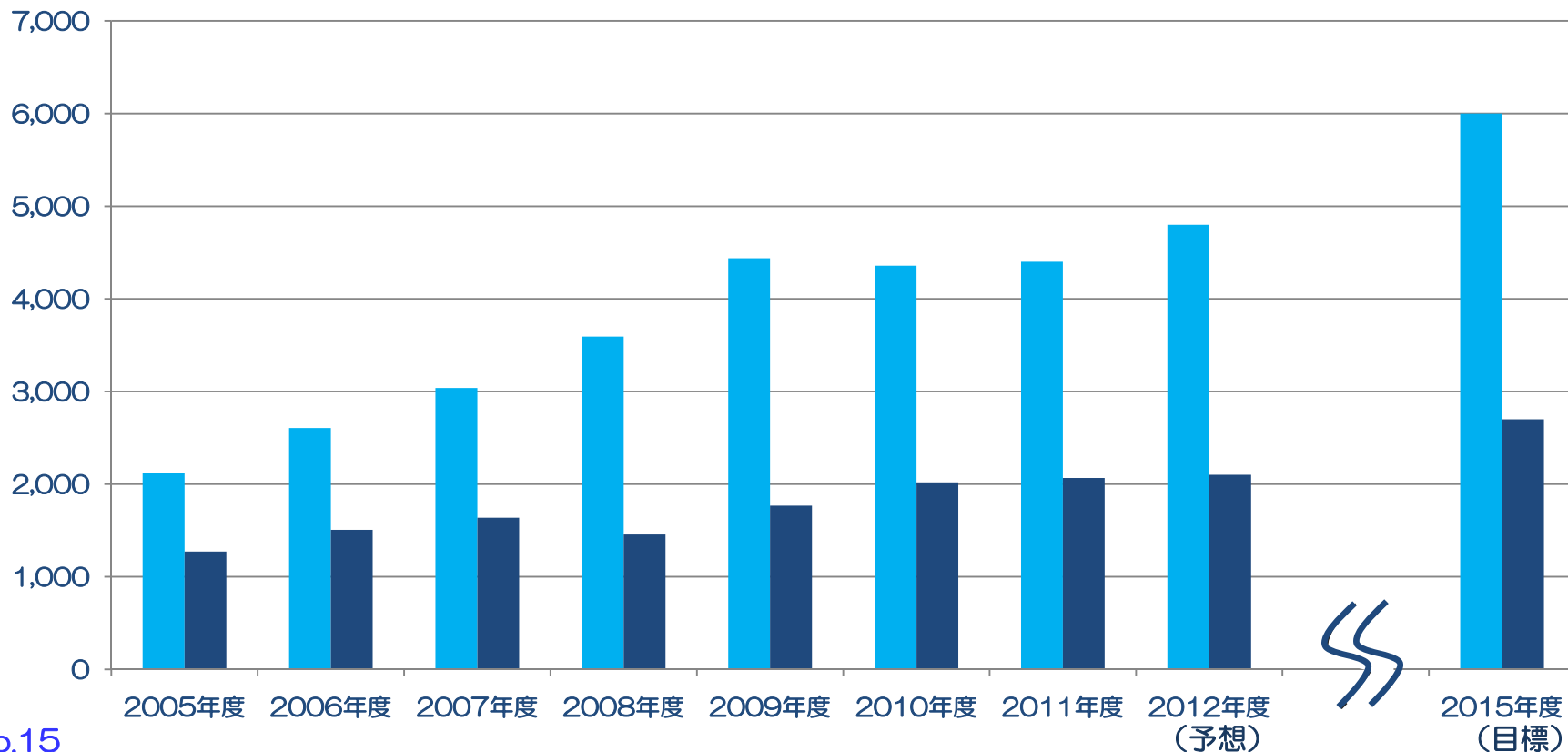
## 2) 日本事業の再構築

### 高付加価値商品の拡販

ビームセット、パインクリスタルは用途展開により再拡大へ

(売上高：百万円)

■ビームセット ■パインクリスタル

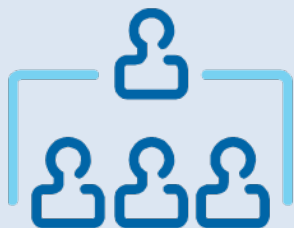




### 3) グローバルガバナンス体制の強化

経営資源のグローバルでの運用体制を構築する

グループ、組織体制の  
見直し



会社設立・運営パッケージの  
構築



グローバルガバナンス体制の  
強化

グローバル人財の  
育成

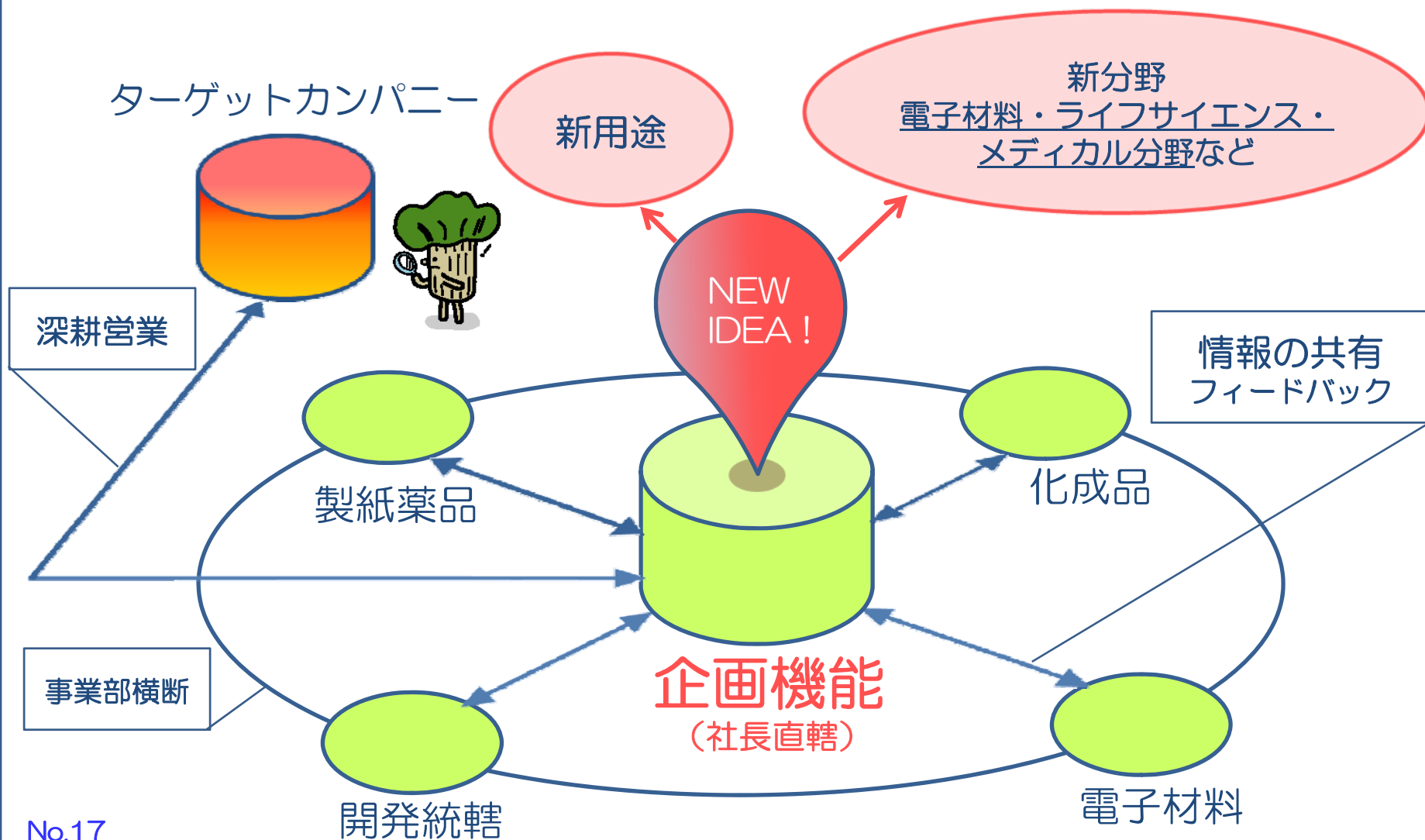


リスクマネジメントの  
強化



## 4) 事業開発の促進

社長直轄による全社横断の事業企画活動を強化する



### 3-3.業績目標（連結）

2015年度目標：	売上高	800億円
	経常利益	40億円
	ROE	≥5%

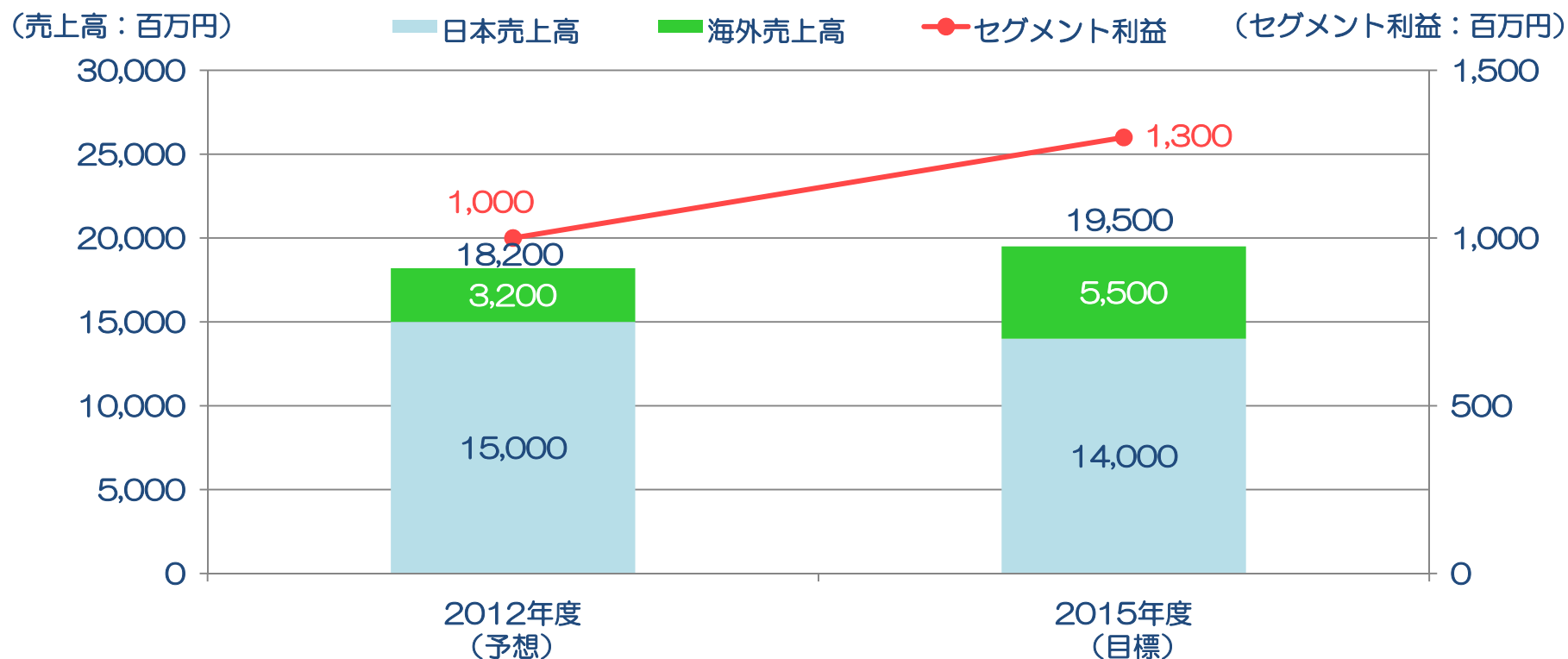
（単位：百万円）	2012年度 （予想）	2015年度 （目標）	3カ年 伸率%
売上高	70,500	80,000	+13.5
営業利益	2,100	4,000	+90.5
経常利益	2,100	4,000	+90.5
当期純利益	950	2,400	+152.6
ROE	2.5%	≥5%	
EBITDA	5,341	6,500	+21.7

### 3-4.セグメント利益（連結）

(単位：百万円)		2012年度 (予想)	2015年度 (目標)	3カ年 伸率%
製紙薬品事業	売上高	18,200	19,500	+7.1
	セグメント利益	1,000	1,300	+30.0
	利益率	5.5%	6.7%	
化成品事業	売上高	37,400	40,900	+9.4
	セグメント利益	500	1,400	+180.0
	利益率	1.3%	3.4%	
電子材料事業	売上高	14,600	19,200	+31.5
	セグメント利益	450	1,200	+166.7
	利益率	3.1%	6.3%	
合計	売上高	70,500	80,000	+13.5
	セグメント利益	1,960	3,910	+99.5
	利益率	2.8%	4.9%	

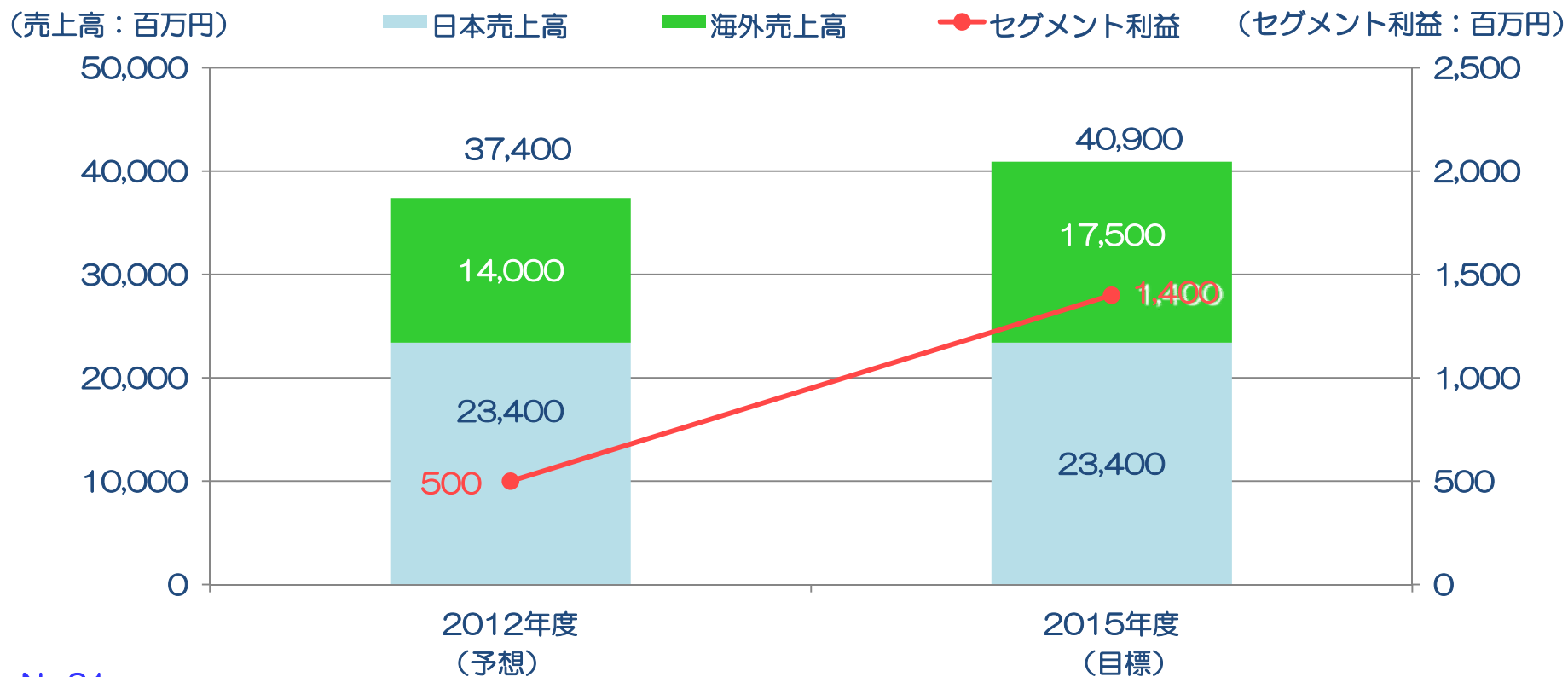
## 製紙薬品事業

海外は中国華南地域、ASEAN地域での拡販により、  
2020年に東アジア・ASEAN地域でシェアNO.1を目指す。  
日本はトップシェアを維持し、収益を堅持する。

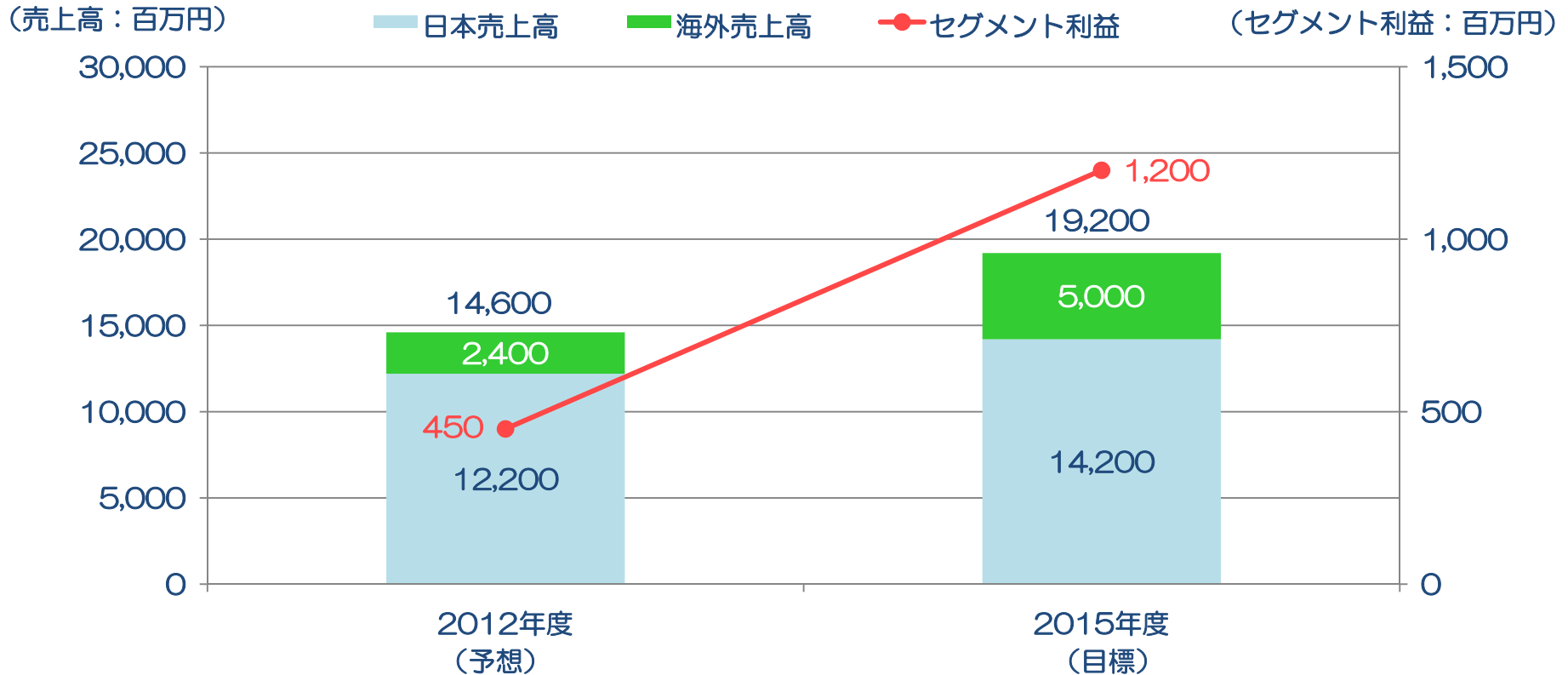


# 化成品事業

水素化石油樹脂「アルコン」のグローバルブランド力を強化  
 アジアを中心にロジン誘導体、塗料・コーティング用樹脂の  
 生産・販売体制構築を推進。超淡色ロジンの用途開発を行う。



海外は中国・台湾・韓国での拡販を推進する。  
ビームセットは用途開発により、グローバルでの拡販、  
ポミランは安定生産、加工技術確立による実績化を目指す。



3カ年合計 投資額75億円、研究開発費90億円を予定  
別途、M&A枠50億円を想定し、機会を窺う

	第3次中計 3カ年合計
投資金額	約75億円
減価償却費	約80億円
研究開発費	90億円（30億円／年）



## 第3次中計と連動したインセンティブ制度を導入する

業績目標に対する責任と目標達成時のインセンティブを明確にするため、有償ストック・オプション（新株予約権）を付与する。

有償ストック・オプション	
予約権割当対象者	取締役および従業員 272名
予約権の総数	13,190個
株式の種類及び数	当社普通株式 100株/個
割当日	2013年4月23日
行使条件	業績目標達成

※対象者の人数は予定人数であり、増減することがある。  
また、予約権の総数は上限の発行数を示したものであり、  
申込数等により減少することがある。

# グローバル140

140周年に向けてグループ経営理念を共有した社員が躍動するアジア企業へ

グローバルに通用する経営基盤を構築する  
～化学はグローバル市場では成長産業である～

1) グローバル化の加速

2) 日本事業の再構築

3) グローバルガバナンス体制の強化

4) 事業開発の促進

2015年度目標：	売上高	800億円
	経常利益	40億円
	ROE	≥5%

## 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。

